

秋田市教育委員会
会 議 録

令和7年12月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和7年12月定例会会議録

1 日 時 令和7年12月25日（木曜日）
午後3時30分～午後4時30分

2 場 所 5－A会議室

3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員

4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
学事課長
学校教育課長
教職員室長
教育研究所長
学校適正配置推進室長
生涯学習室長
総務課長補佐
総務課副参事
総務課副参事
生涯学習室長補佐
総務課主席主査
教職員室主席主査
教育研究所主席主査
生涯学習室主席主査
総務課主査

5 議 題

【協議事項】

- (1) 令和7年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について
- (2) 令和8年度全国学力・学習状況調査への参加について

【教育長等の報告】

- (1) 令和7年11月市議会定例会の審議状況について
- (2) 令和7年度「二十歳（はたち）のつどい」の警備について

6 議 事 午後3時30分開会

【令和7年11月定例会会議録の承認】

令和7年11月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【協議事項】

- (1) 令和7年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について

教育長 協議事項(1)「令和7年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について」、事務局から説明願う。

教職員室長 (資料に基づき説明)

委員 今年度の学校訪問では、日新小が特に印象に残った。これまで図面でしか見ていなかったが、子どもたちがすばらしい環境の中で学んでいる様子を見ることができた。また、図書室もすばらしかった。

今年度は、熊の出没が多く、教育委員会でも熊鈴を配布するなどの対応を行ったが、学校側でも様々な点で苦慮したとの話題が多かった。例えば、学校の近くに熊が出没した際、登下校に関しての注意喚起を行うなどの対応を行ったとのことであった。

I C T機器が導入されてからしばらくたち、先生方の使い方にも応用が利いてきたように感じる。しかし、懇談の際、

機器の保守までは分からないため、今後もICT支援員は必要との話題があった。

委員

日新小の新校舎は、非常に明るく、使いやすい校舎であると思った。これまでは、市内でも古い方だったが、新校舎になったことで、伸び伸びと安心して、木のぬくもりを感じながら学校生活を送れると思った。一方で、老朽化している校舎で学校生活を送らなければならない児童生徒もいるということのを忘れずに、限られた財源の中で、長寿命化計画などに沿った施設の運用をしてほしい。特に、秋田商業高校の生徒は、県内の県立高校が次々と新校舎に変わる中、古い校舎で勉学に励んでいる。できるだけ早く、新築等の議論を進めたほうが良いと思う。また、保護者からも要望の多い、特別教室や体育館への冷房の設置は、早急に手を付けていかなければならない事案だと思うので、国の補助金などを活用し、設備の充実に努めてほしい。

いじめや不登校などの件数が増加している中で、校内教育支援センターを設けるなどの対策が施されており、実態に応じたきめ細かな対応がなされていると思った。しかし、ちょっとした誤解や、意思疎通を図れないことから学校に不信感を持たれるケースもあると聞くので、対応する際の体制や進め方などを全職員で共有してほしい。子どもに自信を持たせることや学校・地域・家庭において自分が必要とされていると思うような指導が大事だと思った。

ICT教育については、多くの学校でタブレット機器などが機能的に活用され、授業のみならず、様々な学習場面での活用が進んでいる。今後、タブレット端末の更新が順次行われていくが、スムーズな更新とさらなる機器の有効活用をお願いする。

委員

今年度の学校訪問では、各校が地域と連携し、子どもを大事に育てていると感じた。「チーム学校」というマンパワー

が必要な中で、いかに地域と結び付き、子どもを育てていくかは、非常に大事だと思う。ホームページや様々な広報活動により学校を知ってもらい、ステップアップしながら、連携を強化してほしい。

また、校内教育支援センターの支援員を学校で有効に活用しているという点について、具体例なども交えながら示していただいた。場所づくりだけではなく、「そこに人がいる」、「誰かがそこで自分を待っていてくれる」ということが、子どもに安心感を与え、自分の存在感や自己有用感を高めることにつながると思う。それが教室に戻るきっかけにもなっているという話もあった。予算も必要になると思うが、今後増やしていただければ、大変有り難い。

I C T機器の活用について、積極的な学校は、学年を通して系統立てられてしっかりと力を付けていると思った。低学年においては、これまでは、タブレットで写真を撮るといった使い方が主流であったが、授業で自分の考えを表現するなど、思考ツールとしても役立っている場面も見られた。また、全体として、アナログとデジタルの良さをミックスし、目的やねらいを明確にしながら使用することの大切さを考えていると感じた。持ち帰りに関しては、積極的な学校と消極的な学校との差を感じた。積極的に持ち帰っている学校では、自宅での宿題だけでなく、様々なやり取りも上手にできていたので、活用方法が広がれば良いと思う。

一方で、消極的な学校は、ネットトラブルや情報モラルが心配だという声も聞かれたので、今後、教育委員会で持ち帰りを推進していくのであれば、様々な取組が必要になってくると思う。

明日から冬休みに入るが、学事課からタブレットの持ち帰りについて、何か通知は行っているのか。

学事課長

タブレットの持ち帰りについての注意事項を学校に通知し

た。タブレットを大切に使うてもらおうことのほか、Wi-Fiの接続方法等を周知した。

委員

多様性への対応が求められる中、様々な課題に先生たちが向き合っていると感じた。先生方が、生き生きと仕事に従事していくための環境づくり、働き方改革および仕事へのやりがいなども大事だと思う。今後も先生たちが、生き生きと働く姿を拝見したい。

委員

大雨の際に、臨機応変に対応している生の様子を拝見することができたことが良かった。

学習に関しては、どの学校の子どもたちも集中して頑張っており、非常に良かった。先生方が、各校の状況に応じて、工夫した学習を展開している成果ではないかと思う。

ICT機器に関しては、ただ使うという段階から、効果的に使うという段階に進んでいる学校も多く見受けられた。反対に、持ち帰りや使用頻度の差も感じた。ネットトラブルや情報モラルが心配であるため、使っていないという学校もあり、残念であった。持ち帰りを積極的に進めている学校の例を参考にし、各校の差をなくすようにしてほしい。

熊が出没する前から、心配な場所の木を切りたいと申し出ても、すぐに対応してもらえないため、自分たちで木を切るという話もあった。実際に熊が出没し始めてからも、予算の都合もあり、すぐに対応してもらえないとのことであったが、何かしらの早い対応をしてもらえれば、学校や保護者も安心だと思う。

校内教育支援センターを見学したが、部屋の配置を工夫している学校もあった。また、子どもが一時的に教室に行けない場合に、校内教育支援センターで授業を行うなどの活用をしているという話もあった。来年度以降も導入できる学校が増えると思うので、より有効に使ってほしいと思う。子どもたちや保護者の安心にもつながると思うので、今後も積極的

に進めてほしい。

初任者や若手の先生方が、やりがいや目標を話してくれた学校もあり、非常に頼もしさを感じた。先輩方から学んで、力を付けてほしい。

教育長 ICTの活用に学校間で差が見られるとのことであるが、どうか。

学校教育課長 小学校では、1年生からスキルアップが図られているということ踏まえ、義務教育の9年間でどのような姿にしたいかなどを話題にしながら、子どもたちを育てていきたい。

小中連携においても、ICTの活用に関して、小中学校でお互いに理解し合いながら、授業の中で導入するという気運が高まってきていることも、研修会や校長会等で話題にしていきたい。

教育長 ICTの活用が、少しずつ浸透してきていると感じるが、活用が不十分な学校もあるように思う。

今年度の後半は、熊対応で朝から送迎の対応に追われた部分もあったと思うが、まずは、子どもたちに被害がなく、何よりだった。

若い先生方が増え、学校が非常に若返っているという感じはするが、授業を見ていると、指導力や授業力については、経験不足もあり、ばらつきがあるように感じた。経験豊富な教員と一緒に仕事をしながら力を付けてほしい。また、研修の面でもフォローしてほしい。

※ 協議事項(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 令和8年度全国学力・学習状況調査への参加について

教育長 協議事項(2)「令和8年度全国学力・学習状況調査への参加について」、事務局から説明願う。

教育研究所長 (資料に基づき説明)

委員 学校質問調査は、どのように活用されているのか。

教育研究所長 学校質問調査は、指導方法に関する取組、人的・物的な教育条件の整備状況等について、各校がオンラインで回答している。調査結果をまとめたものが各校に配布され、各校で活用している。

教育長 国が学校の環境と学力調査の結果との相関などを分析するという目的が大きいと思うが、どうか。

教育研究所長 そのとおりである。

委員 国で分析した後、各校の結果や全国の結果がフィードバックされ、活用できる形になっているということか。

教育研究所長 そのとおりである。先ほど、ICTの活用が話題になったが、その状況が全国的にどうかということなどもまとまっている。

教育長 全国的な結果が出るため、それらと比較して自分たちの学校の状況を考えるということに使える。

委員 中学校理科の調査は、オンラインで実施されたが、文部科学省の資料によると、全国で9,611校が参加している。そのうち、ネットワーク回線等の理由で、調査日に実施できなかった学校もあったそうだが、本市においては、トラブルはなかったか。

教育研究所長 今年度の中学校理科の調査において、本市については、トラブルの報告や問合せはなかった。

委員 来年度以降、トラブルなく実施するためのノウハウはあると捉えて良いか。

教育研究所長 そのように捉えている。

教育長 ネットワーク回線についてはどうか。

学事課長 一時的に混雑する場合も考えられるため、学校で実施日が集中しないように配慮してもらっている。一時的に混み合った場合には、別の回線を使えるような体制も整えている。

教育長 英語の「聞く」・「話す」の場合は、かなりのデータ量が

あると思うが、その点についてはどうか。

教育研究所長 調査は、一定の期間が設けられており、学校によって、実施日が決められている。学校の希望に応じて、文部科学省が指定した日に行うことになっている。また、学校の中でもグループに分けて実施するなどの工夫がなされている。

教育長 I R T調査であるため、時間差があっても、解く問題が違ふということがメリットだと思う。

※ 異議がなかったため、令和8年度の調査については、参加することに決定した。

【教育長等の報告】

(1) 令和7年11月市議会定例会の審議状況について

教育長 報告(1)「令和7年11月市議会定例会の審議状況について」、事務局から説明願う。

総務課長 11月28日から12月23日までの期間で開かれた11月市議会定例会の審議状況について、報告する。

はじめに、本会議における一般質問においては、卒業式や入学式の日、学校周辺において熊の目撃情報があった場合の対応について質問があり、子どもの安全確保を最優先とし、参加する児童生徒や保護者のため、グラウンドを臨時駐車場として開放したり、卒業生との触れ合いや見送りを校内で実施するなど、各校の実情に応じた対応を行うこととする旨、答弁した。

12月15日に行われた予算決算委員会教育産業分科会において審議された令和7年度11月補正予算については、港北小の屋根等防水改修事業に関して、雨漏りは以前から発生していたと推察されるが、なぜこのタイミングでの補正となったのかとの質問があり、9月の大雨により雨漏りの状況が急激に悪化し、学校活動に影響が生じていることから、最速

で予算化し対応を図るため、今回の補正予算に計上した旨、答弁した。

同日開催された教育産業委員会においては、提出された陳情3件の採決が行われ、「小・中学校給食費の完全無償化を実現するための財政支援に関する意見書の提出について」、「学校給食費の無償化と安全な地場農産物の活用について」の2件は採択、「小・中学校給食費の完全無償化の早期実施について」は、不採択となった。

補正予算案については、12月23日の本会議において、原案どおり可決された。

また、所管事務として「秋田南中学校・築山小学校・中通小学校併設校整備事業に係る基本設計の概要について」、「秋田市学校給食調理場再編整備計画の策定について」、「令和5年度に発生したいじめ重大事態について」、「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」および「市立図書館の開館時間の見直しについて」の5件を報告した。いじめ重大事態に関しては、学校において、いじめの事実を1か月放置していたのではないかと報道されていたが、どのように考えているかとの質問があり、いじめと認知した時期について、保護者と学校で認識の相違があるようだが、学校がいじめと認知した後の対応は適切であったと認識している旨、答弁した。

委員

国で小学校の給食費無償化について審議され、5,200円が措置されるとのことだったが、どのような流れになるのか。

学事課長

現時点での情報では、基準額5,200円を国と県で半分ずつ負担する形になるが、詳細については、まだ具体的に示されていない。ただし、本市で来年度に給食費を改定した場合、月額6,736円になるため、基準額との差額は市町村の負担となり、保護者から徴収することも可能と示されて

いるが、本市としては、保護者に負担は求めない方向で進める準備をしている。

委員 今回、給食の物価高騰分を本市で負担する案で補正予算が組まれたが、これまでどおり、保護者の負担は変わらないのか。

学事課長 小学校の給食費に関しては、国の交付金を活用するため、保護者の負担はない。

教育次長 今回の補正予算は、物資安定供給業務で食材を購入する予算である。改定後の金額で購入できるように予算を提出したが、給食会計の予算については、2月議会で保護者負担がなくなる形の予算を提出することになる。

教育長 来年からの3年間、給食物資の調達に関わる分の債務負担行為の設定である。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 令和7年度「二十歳（はたち）のつどい」の警備について

教育長 報告(2)「令和7年度「二十歳（はたち）のつどい」の警備について」、事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

委員 警備体制については、昨年度と同様の体制で対応していくのか。

生涯学習室長 例年は、ステージに背を向けた形で通路に職員を配置していたが、今年度は配置しないこととした。

委員 実行委員を立て、自分たちの式典だという意識付けを工夫してきた点が大いいのではないかと思う。

警備の人員も減り、お祝いムードの中で二十歳（はたち）のつどいが開催されるということが、喜ばしいことだと思う。油断なく様々な事案に対応し、すばらしい式典になるように、力を合わせて進めてほしい。

- 委員 職員が点在しているが、職員同士はどのように連絡を取るのか。
- 生涯学習室長 当日、主要な職員にはトランシーバーを配布する。また、各班にリーダーを置き、リーダーを中心に、突然の出来事に対応するための準備をしている。
- 委員 今年度の家族席は、どのくらいあるのか。
- 生涯学習室長 保護者の方は、450人は入れるように準備している。
- 委員 できるだけ多くの保護者や市民の方に見ていただき、祝っていたきたいと思う。
- クラウドファンディングも行われているようだが、現時点の状況はどうか。
- 生涯学習室長 式典の前に予定している人口減少・移住定住対策課の「ハタチが輝く1日応援プロジェクト」を実施するためのクラウドファンディングは、若干苦戦しているため、庁外でも様々な広報活動を行っている。また、ランウェイを歩く方も、おむね固まっているようである。
- 委員 非常に良い試みであり、素晴らしい式典になることを期待している。人口減少・移住定住対策課で行ったFMラジオのような広報活動を継続していけば、もっと市民の方からも関心を持っていただけるのではないかと思う。
- 委員 カメラは、会場の真ん中に設置されるのか。
- 生涯学習室主席主査 1階と2階に1台ずつ、計2台で撮影する。
- 教育長 立ち入り規制ラインの前方に、カメラを設置するということか。
- 生涯学習室主席主査 立ち入り規制ライン前方の会場の真ん中と2階の南側観覧席から、固定カメラで撮影する予定としている。

※ 報告(2)については、以上のとおり終了した。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 今後の日程についてお知らせする。1月定例会については、
1月22日木曜日午後3時30分から開催する予定である。

教育長 1月定例会は、1月22日木曜日午後3時30分から開催
予定とのことである。委員の皆様、よろしく願います。

午後4時30分閉会